



1. お知らせ …ジャグラの機関誌で自費出版事業者の連載開始

□□ \_\_\_\_\_ □□

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会（ジャグラ）の機関誌『グラフィックサービス』で9月号から「我が社の自費出版事情」が始まりました。

1回目は彦根のサンライス出版さん、  
2回目は八王子の清水工房/揺籃社さんです。

□□ \_\_\_\_\_ □□

2. トピックス …ネットワークの個人会員第一号

□□ \_\_\_\_\_ □□

ネットワークの入会が法人会員以外に、個人事業者と個人の3種類になりましたが、早速個人会員第1号が入会しました。

今年の2019日本自費出版フェスティバルのボランティアの方で「応援したい」と入会してくれました。

□□ \_\_\_\_\_ □□

3. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.35

□□ \_\_\_\_\_ □□

共立速記印刷株式会社  
岡崎 里志

「専門知識とデータ」

共立速記印刷株式会社 生産管理部 生産管理課 岡崎です。

私の業務は、直接お客様と編集や打ち合わせする業務は少なく、営業の受けた仕事を生産現場に効率良く指示を出す作業がメインとなっています。

そこで良く耳にする話が、カラー印刷物に関する色の話です。専門的な業務指示が多く日常的に「CMYK」「RGB」「特色」などの専門用語使用していますが、本を作ろうとしているお客様の印刷物に関する認識は、カラー印刷かモノクロ印刷ぐらいの知識しかありません。

出稿した校正紙に対し、「空の色をもっと澄み切った青にしたい」とか「顔色を良くできませんか？」というような要求が発生した場合、作業する要素をデータ処理ができるように的確な判断をして通訳的なことをします。

データ制作オペレーターには

「空の色に対し、現在のCMYの配合からイエロー成分を減色させ、マゼンタ成分を下げてシアンを上げるように」と言った要求を作業時に伝えることにより、お客様が求める青の状態に近づけられます。

印刷データでの色は、CMYK4色から構成されている濃度パーセントの値を上下させたりすることが求められ、その数字の判断から、お客様のイメージを合う結果を結びつけます。

印刷物を作り上げるアドバイスは、お客様に本を作るアドバイスだけでなく作業する現場に対してもアドバイスを行い、専門知識やデータの情報を的確に

通訳していくことが、自費出版アドバイザーの使命と感じています。

□□ \_\_\_\_\_ □□

☆ 知つとこ 愛知 ☆ その6

□□ \_\_\_\_\_ □□

## 方 言

愛知県名古屋市に移り住んでかれこれ40年近くなります。  
いまではすっかり馴染んでいます、当初戸惑ったのはやはり「方言」です。  
私の出身地は「徳島県」。どちらかというと「関西弁」に近く、愛知県とは  
かなり違い、全くわからなかった言葉が結構ありました。  
そんな方言をいくつか紹介します。

- ・ えらい…疲れた  
※「えらそうな顔してる」は偉そうではなくて「疲れた顔をしている」の意味
- ・ 机をつる…机をつり上げて運ぶこと
- ・ おみえになる…いらっしゃる  
※標準語だと思っている名古屋人も多いです
- ・ いざる…ずれていること
- ・ まわししといて…準備しておいての意味
- ・ だだくさ…雑、無駄の意味
- ・ ケッタマシン…なぜか自転車のこと 等

余談ですが、愛知県の方言を「名古屋弁」とひとまとめにされることも多い  
ですが、実は愛知県の方言は大きく「愛知県東部」と「愛知県西部」に分かれ  
ていて、それぞれ「三河弁」「名古屋弁（尾張弁）」となるようです。  
名古屋市は愛知県西部なので、名古屋弁ということになりますね。

株式会社マルワ 増井富枝代

\*\*\*\*\*

## ★あとかき

共立速記印刷の岡崎さまのお話、生産管理者ならではのお話でしたね。  
自費出版アドバイザーの役割が多岐にわたり、広い知識が必要なんだと  
あらためて感じました。文字もそして色も形もベストなものをお客さまに  
ご提供したいですね。

ジャグラの機関紙でもこの「自費出版事情」が連載ですね。ますます  
自費出版文化が広がりそうな気配です。

「名古屋弁」おもしろいでしょ。  
私は名古屋弁なんて使ってないわ、と思っていましたが、実は今回  
紹介された言葉は、日常的に使ってました(笑)

それでは、皆さま良き秋の日をお過ごしくださいね。

---

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら  
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。